実施報告書

１．確認事項等

施設番号	66-1293											
施設名	LIFESCHOOL桐ケ丘こどものもり											
施設所在地	東京都北区桐ケ丘１－７－１７											
法人名	社会福祉法人つぼみ会											
活動期間	令和	7	年	4	月	から	令和	8	年	3	月	
活動内容の公表	✓	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。										
	公表したホームページ等のURL											

２．活動報告（注１）

番号　１

テーマ	様々な国の文化に触れ、世界の多様さを知る。											
実施回数・期間（注２）	11回　4月～2月											
対象クラス・対象人数	０歳児クラス		１歳児クラス		２歳児クラス		３歳児クラス		４歳児クラス		５歳児クラス	
	0	人	0	人	0	人	16	人	14	人	16	人
活動内容（注３）	本園には様々な国や文化的背景を持つ子どもたちが在籍している。また、これからの社会を生きる子どもたちには、自分とは異なる文化や価値観を尊重し、多様な人々と共に生きていく力が求められる。 そこで本園では、世界各国や日本各地の文化、食、人々の暮らしに触れる活動を年間を通して実施している。映像や音楽、料理、交流などを通して多様な世界への興味関心を育み、自分たちとの共通点や違いに気付くことを目的とした。 具体的には外国人の講師を雇用し、彼らを中心とした多様な文化に触れるということを行った。子どもたちの興味が料理の際にはその国の料理のクッキングをおこなった。											
活動におけるチェックリスト	✓	グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。										
	※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 世界の国や地域について知る際には、映像視聴や実物資料の観察だけでなく、サークルタイムを設けて子ども同士が感じたことや発見したことを共有できる機会を設けた。また、クッキングや制作活動では少人数のグループで協力しながら活動を進めることで、自然な対話や協働が生まれるよう環境を構成した。											
	✓	活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像 等で記録した。										
	※記録をどのように行ったか 活動中の子どもたちの言葉や表情、友達とのやり取りを保育者がメモするとともに、写真や動画で記録を行った。活動後にはドキュメンテーションとして整理し、子どもたちの興味や関心、学びの過程を可視化した。											
	✓	乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。										
	※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 保育者が知識を一方的に伝えるのではなく、「どんな国だと思う？」「どんな味がするかな？」などの問いかけを通して子ども自身が考えたり予想したりできるようにした。また、料理づくりや制作活動では子どもが自ら素材や方法を選択できる場面を設け、興味や発見をもとに活動が展開されるよう配慮した。											
	✓	記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。										
	※振り返りの実施方法 活動後には保育者同士で写真や記録を見返しながら振り返りを行った。子どもたちがどのようなことに興味を持ったのか、どのような発見や対話が生まれたのかを共有し、次回の活動内容や環境構成の改善に活かした。また、活動の様子を子どもたち自身と振り返る機会も設け、経験の再構成につなげた。											
	✓	幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。										
	※教諭や保護者等への共有方法											

	✓	次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。
	※継続的な実施のための工夫 活動の様子はドキュメンテーションとして掲示するとともに、園のホームページや園だよりを通して保護者へ発信した。また、写真や子どもの発言を交えながら活動内容を共有し、家庭でも世界の文化や地域について話題にできるよう情報提供を行った。	

（注１）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注２）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注３）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。
また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。